

連続シリーズ

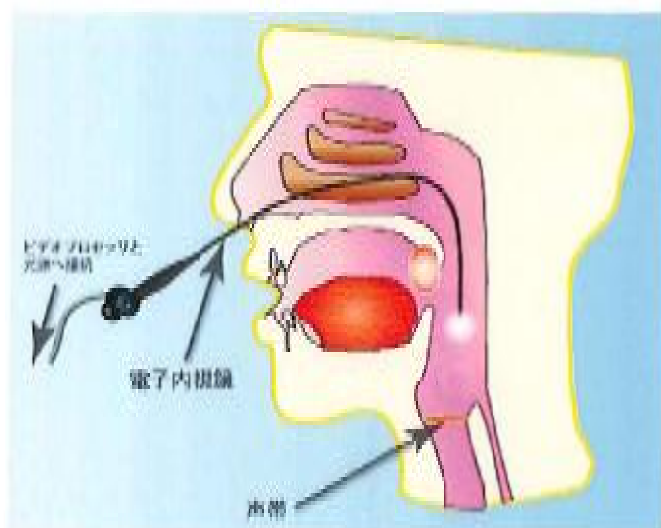
借行会リハビリテーション病院 専門職について



【当院での言語聴覚士の役割】

脳卒中や交通事故などにより、ことばの障害がある方や飲み込みの障害がある方の支援を専門に行います。

当院では 12 名の言語聴覚士が 365 日、訓練を行っています。



【嚥下内視鏡検査 (VE) について】

昨年度までは飲み込みに障害がある方に行う検査としては嚥下造影検査 (VP) を行ってきましたが、今年度から新たに嚥下内視鏡検査 (VE) を取り入れ、より多角的に症状を捉えることができるようになりました。

嚥下内視鏡検査 (VE) とは、鼻から内視鏡を通してのどを観察する検査です (左図参照)。

実際に食べ物を食べてもらい食べ物がのどをどのように通過するか、のどにどの程度食べ物が残るかなどを直接観察することができます。

【実績と今後について】

平成 27 年度 4 月から 9 月の半年間に 42 名の経管栄養の患者様が当院に入院されました。その中の 31 名の患者様が経口摂取に移行することができました。

今後更に経管栄養の患者様が増えていく事と思われれます。

新たな検査を取り入れ、これからも「口から食べる」にこだわっていきたいと思います。



言語聴覚療法課：課長 鈴木伸吉